

お知らせ

インフルエンザワクチン接種を 10月20日(火) から開始します！

昨年通り、インフルエンザワクチン予約システムのご利用が可能です。また予約なしでの来院順でも接種ができます。

インターネット予約をご利用に当たっての注意点

- ・料金は1回 4000円となります。(今年からワクチンが変わりました。)
- ・13歳未満のお子様は、初回接種から2~4週(3週間あけてが望ましい)間隔で2回の接種が必要です。
- ・6ヶ月以上1歳未満の方で、接種をご希望の方は医師にご相談ください。
- ・卵アレルギーのある方は当院では接種できません。
- ・予約時間の10分前にお越しください。20分以上遅れて来院された場合はキャンセルとさせていただきます。
- ・診察もかねて接種をご希望の方は、このシステムでの予約はできません。通常通り、外来での来院順となりますのでご了承ください。
- ・ご両親も接種可能です。ご予約ください。
- ※ご希望の方は他のワクチンとの同時接種もできます。(生まれて初めてのインフルエンザワクチンは単独でお受けください。)



マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマという病原体は肺炎や気管支炎をおこしやすい、特に**5歳以上の幼児、学童**が発病しやすい病気です。潜伏期間は**2~3週間**で、はじめは**咳や発熱**から始まり、徐々に悪化します。痰が出にくいようなしつこい咳が、特に夜中にひどく、39℃から40℃に及ぶ高熱が続くこともあります。その割には元気だという印象です。初期には普通の風邪と区別が難しく、一般的に使われるペニシリン系やセファム系の抗生剤が効きません。胸部レントゲンを撮って初めてマイコプラズマ肺炎が疑われるということになります。以前はマクロライド系の抗生剤が有効でしたが、この10年くらい前から、この抗生剤が効かない菌が増え、今では9割以上が**耐性菌**だというデータも出ています。副作用のため、8歳未満のお子さんには使用が難しいミノマイシン、またはキノロン系の抗生剤が有効ですが、こちらは解熱するまでに3~4日かかります。正確な診断は、のどの奥を綿棒でぬぐって抗原を調べる方法と、血液検査で抗体価が上昇したことを証拠として診断する方法があります。ある程度咳がおさまるまでは伝染力があり、登園、登校できるようになるまで2週間くらいかかります。家族にうつったり、親からうつされることもありますので、全身状態が悪くなくても、長引く咳や夜だけ発熱が続く場合は放置しないで病院を受診しましょう。



スタッフ紹介



おおみ りえ
大見 理絵

冬季に週に2~3回、診察のお手伝いしております。まだまだ不慣れなところが多く微力ではありますが、クリニックに来られたお子様の不安が少しでも和らぐように、力になればと思っております。よろしくお願いいたします。

知っておきたい豆知識

【赤ちゃんの鼻づまり】



赤ちゃんは風邪というわけではないのに鼻づまりで寝苦しそうになることがあります。鼻の穴が小さく、粘膜が敏感なので、ちょっとした気温の変化などの刺激で鼻水が出やすいのです。暖房で部屋が乾燥すると鼻水がねばっこくなり、つまりせることもあります。また、口で呼吸することが下手なので、鼻がつまるとお乳が飲みにくくなり機嫌が悪くなります。

鼻づまりを治すためのヒント

- ・暖房で部屋が乾燥しないように加湿器などを使ってみましょう。
- ・お風呂の湿気は鼻の粘膜を湿らせてくれるので、つまった鼻水が出やすくなります。お風呂あがりに鼻水をとってあげると寝つきがよくなるでしょう。